

2025年度  
外国人留学生入学案内  
(大学院)

文学研究科  
公共政策学研究科  
生命環境科学研究科  
食の文化学位プログラム

京都府立大学大学院

# 2025年度外国人留学生入学案内（大学院）

京都府立大学大学院

## 1 出願資格

下記(1)～(4)をすべて満たしている者としします。ただし、(4)①についてはa～c、②についてはa、bのうち1つを満たすこととしします。

(1)外国の国籍を有する者

(2)生命環境科学研究科の博士後期課程については、日本語又は英語のいずれかに堪能であること。

(3)在留資格「留学」を有する者又は入学時に在留資格「留学」を取得できる見込みの者

(4)① 博士前期課程

a. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び入学前年度に修了見込みの者、又はこれと同等以上の学力があると本学大学院において認められた者

b. 外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学大学院において認められた者

c. 日本において外国人留学生として大学を卒業した者及び入学前年度に卒業見込みの者

② 博士後期課程

a. 外国において修士の学位を取得した者及び入学前年度に取得見込みの者、又はこれと同等以上の学力があると本学大学院において認められた者

b. 日本において外国人留学生として修士の学位を取得した者及び入学前年度に学位取得見込みの者

## 2 出願事前審査

(1) 受付期間

〈夏期〉文学研究科英語英米文学専攻 博士前期課程

公共政策学研究科公共政策学専攻・福祉社会学専攻 博士前期課程

2024年 5月23日(木)～ 5月30日(木)

〈冬期〉全専攻全課程及び食の文化学位プログラム全課程

2024年10月23日(水)～10月30日(水)

(2) 提出先

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5 京都府立大学学生部学務課入試係

(3) 提出書類

① 志望理由書（別紙第1号様式）

② 履歴書（別紙第2号様式）

③ 事前届書（別紙第3号様式）

④ 在留資格に関する誓約書（別紙第4号様式）

⑤ 在留資格を有する者は、在留カードの表面及び裏面の写し

⑥ 次の語学試験を受験している場合は、その成績通知書の写し

日本留学試験、TOEFL試験、TOEIC試験

(4) 事前の面接 必要に応じ、志望研究科等で面接等を実施の上、出願の可否を決定します。

(5) 事前審査結果 審査結果は、郵送にて通知します。なお、出願を許可した者に対しては、結果通知と共に出願書類等を郵送します。

### 3 出願手続

出願事前審査結果に同封された封筒に必要書類を封入し、次のとおり出願してください。

#### (1) 出願期間

〈夏期〉文学研究科英語英米文学専攻 博士前期課程

公共政策学研究科公共政策学専攻・福祉社会学専攻 博士前期課程

2024年 7月 1日(月)～ 7月 8日(月)午後5時まで (必着)

〈冬期〉全専攻全課程及び食の文化学位プログラム全課程

2024年12月13日(金)～12月20日(金)午後5時まで (必着)

※ 郵送による期限後受付

- ・国内在住者 受付最終日の1日前までの消印のある書留速達郵便に限り受け付けます。
- ・国外在住者 受付最終日の3日前までの消印のある速達便に限り受け付けます。

#### (2) 出願書類

入学願書、出身大学の卒業証明書(卒業見込者にあつては卒業見込証明書)又は大学院修士課程修了証明書(修了見込者にあつては、修了見込証明書)及び成績証明書のほか次のものがが必要です。(別添「出願必要書類一覧」参照)

a. 自国の政府、大使館又は領事館が発行した身分証明書又は推薦書

b. 文学研究科の志願者は、次に指定する論文

国文学中国文学専攻 …… 日本語の論文

英語英米文学専攻 …… 英語の論文(ただし、夏期実施の場合は不要)

史学専攻 …… 日本語、英語又は中国語の論文 2部

※博士前期課程の志願者の場合、2025年3月本学文学部卒業見込みの者については不要です。博士後期課程の志願者の場合、2025年3月本学大学院文学研究科博士前期課程修了見込みの者については不要です。

c. 公共政策学研究科の博士前期課程の志願者は、出願時に論文(日本語に限る。)を2部、博士後期課程については修士論文等(日本語に限る。)を4部提出してください。論文は原則、単著として執筆された1本とし、共著・分担執筆の著作については、本人の執筆担当箇所が明示されているものに限り、なお、博士前期課程の公共政策学専攻及び夏期実施分の福祉社会学専攻については、学力試験(筆記試験)の「総合(小論文)」を受験することにより、論文(卒業論文を含む。)の提出に代えることができます。

d. 生命環境科学研究科応用生命科学専攻の出題分野「食保健学」(博士前期・後期課程)及び環境科学専攻の出題分野「数物・情報環境学」(博士前期課程)の志願者は、TOEIC公式認定書

〔2025年1月末までの2年間に実施されたTOEIC公開テストのうち1回分の公式認定書(写しは不可)を学力試験の面接日に持参し提出すること。〕

e. 生命環境科学研究科の博士後期課程の志願者は、研究内容の概要(A4用紙3,000字程度、英語の場合は1,500ワード程度)を提出してください。

f. 食の文化学位プログラムの博士前期課程の出願者は「志望理由書(日本語または英語、日本語で記載する場合は4,000字程度、英語で記載する場合は2,200ワード以内、様式任意、A4用紙使用)」を博士後期課程の出願者は「研究計画書(日本語または英語、日本語で記載する場合は6,000字程度、英語で記載する場合は3,300ワード以内、様式任意、A4用紙使用)」と「修士論文等(日本語または英語)」3部を出願時に提出してく

ださい。

その他、研究計画書の提出が必要な研究科・専攻がありますので、別添「出願必要書類一覧」を参照してください。

#### 4 入学考査料

30,000円

#### 5 選考方法等

試験日程及び選考方法等については、別紙のとおり

#### 6 その他

本入学案内に記載のない事項は、京都府立大学院の「令和7年度大学院学生募集要項」を参照してください。

#### 7 問い合わせ先

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5

京都府立大学学生部学務課入試係 TEL075-703-5144 (直通)

#### 【参 考】 研究科・専攻一覧

文学研究科	{	国文学中国文学専攻	<博士前期・後期課程>
		英語英米文学専攻	<博士前期・後期課程>
		史学専攻	<博士前期・後期課程>
公共政策学研究科	{	公共政策学専攻	<博士前期・後期課程>
		福祉社会学専攻	<博士前期・後期課程>
生命環境科学研究科	{	応用生命科学専攻	<博士前期・後期課程>
		環境科学専攻	<博士前期・後期課程>
食の文化学位プログラム			<博士前期・後期課程>

## 【文学研究科】

### 博士前期課程

選考は、提出書類、学力試験(筆記試験)及び面接を総合して行います。

#### ◆学力試験等の日時

月 日	専 攻	科 目	時 間	備 考
2024年 8月 6日(火)	英語英米文学専攻	専門科目	10時00分～12時00分	面接の日は願書受付後、お知らせします。
		英語表現	13時00分～14時00分	
		面接	15時00分～	
2025年 2月 8日(土)	国文学中国文学専攻	日本語	10時00分～11時30分	※英語英米文学専攻については、志願者固有の条件を勘案して調整する場合があります。
		専門科目	12時30分～14時30分	
	英語英米文学専攻	専門科目	10時00分～12時00分	
	史学専攻	専門科目	12時30分～14時30分	
2025年 2月 8日(土)	国文学中国文学専攻	面接 (論文試問等)	15時30分～	面接の日は願書受付後、お知らせします。なお、提出論文の写しを持参してください。
	英語英米文学専攻		14時00分～	
	史学専攻		15時30分～	
2025年 2月 9日(日)	国文学中国文学専攻	面接 (論文試問等)	10時00分～	
	英語英米文学専攻			
	史学専攻			

#### ◆専門科目

専 攻	専門種目	専門科目
国文学中国文学専攻	日 本 文 学 日 本 語 学 中 国 文 学	日本文学、日本語学 漢文学、中国文学 } の4科目のうち、志望する専門種目の1科目を含む2科目を出願時に選択
英語英米文学専攻	英文学・日英文化交流 アメリカ文学 英 語 学	夏期実施分 英語学英米文学一般(必修) 英文学・日英文化交流 } アメリカ文学 英語学 冬期実施分 英語学英米文学一般(英語表現を含む) 志望する専門種目の1科目を選択
史学専攻	日 本 史 学 ・ 日 本 文 化 史 学 東 洋 史 学 ・ 東 洋 文 化 史 学 西 洋 史 学 ・ 西 洋 文 化 史 学 文 化 遺 産 学	日本史学・日本文化史学 東洋史学・東洋文化史学 西洋史学・西洋文化史学 } 考古学 建築史学 地理学 文化情報学 の7科目のうち、志望する専門種目に対応する1科目を選択し、入学願書に記入すること。(ただし、設問中には選択した科目以外の1科目の問題を含む。)

## 博士後期課程

選考は、提出書類、学力試験(筆記試験)及び面接を総合して行います。

### ◆学力試験等の日時

月日	専攻	科目	時間	備考
2025年 2月12日(水)	国文学中国文学専攻	専門科目	10時00分～12時00分	※英語英米文学専攻については、志願者固有の条件を勘案して調整する場合があります。
	英語英米文学専攻			
	史学専攻			
2025年 2月12日(水)	国文学中国文学専攻	面接 (論文試問等)	14時00分～	面接の日は願書受付後、お知らせします。 なお、提出論文の写しを持参してください。
	英語英米文学専攻			
	史学専攻			
2025年 2月13日(木)	国文学中国文学専攻	面接 (論文試問等)	10時00分～	面接の日は願書受付後、お知らせします。 なお、提出論文の写しを持参してください。
	英語英米文学専攻			
	史学専攻			

### ◆専門科目

専攻	専門種目	専門科目
国文学中国文学専攻	日本文学	日本文学・日本語学 } の4科目のうち、志望する専門種目の 漢文学・中国文学 } 1科目を含む2科目を選択
	日本語学	
	中国文学	
英語英米文学専攻	英文学	英米文学・英語学のうち、志望する専門種目に対応する1科目を選択(英語表現を含む)
	アメリカ文学	
	英語学	
史学専攻	日本史学	志望する研究領域に対応する専門科目の史資料の読解問題
	日本文化史学	
	東洋史学	
	東洋文化史学	
	西洋史学	
西洋文化史学		
	文化遺産学	

## <試験場> 京都府立大学

### ◆合格発表日

#### 博士前期課程

<夏期> ※英語英米文学専攻夏期実施分のみ

2024年8月16日(金)正午

<冬期>

2025年2月17日(月)正午

#### 博士後期課程

2025年2月20日(木)正午

※合格者には、合格通知書及び入学手続きに関する書類を郵送します。

## 【公共政策学研究科】

選考は、提出書類、学力試験(筆記試験)及び口述試験を総合して行います。

なお、冬期の博士前期課程福祉社会学専攻を除いては、学力試験(筆記試験)の「総合(小論文)」を受験することにより、論文(卒業論文を含む。)の提出に代えることができます。

### ◆学力検査の日時等

#### 博士前期課程

月日	専攻	科目	時間
2024年8月6日(火)	公共政策学 福祉社会学	総合(小論文)	9時00分～10時30分
		基礎	11時00分～12時00分
		口述試験※1	13時00分～
2025年2月8日(土)	公共政策学	総合(小論文)	9時00分～10時30分
		基礎	11時00分～12時00分
		口述試験※1	13時00分～
	福祉社会学	基礎	11時00分～12時00分
		口述試験※2	13時00分～

※1 口述試験は、研究計画書、専門科目試験の「基礎」及び「総合(小論文)」又は論文の内容について行います。

※2 口述試験は、研究計画書、専門科目試験の「基礎」及び論文の内容について行います。

#### 専門科目の内容

基礎 ※1	法学・政治学・経済学・社会福祉学・社会学・教育学・心理学の7分野から1分野を選択
総合(小論文)※2	2題中1題を選択

※1 出願の際に選択する分野をあらかじめ申し出てください。

※2 冬期の博士前期課程福祉社会学専攻を除いては、「総合(小論文)」を受験することにより、論文(卒業論文を含む。)の提出に代えることができます。

#### 博士後期課程

月日	専攻	科目	時間
2025年2月12日(水)	公共政策学及び 福祉社会学	総合(小論文)	10時00分～11時30分
		口述試験	13時00分～

※口述試験は、志願者が希望する学問分野における専門的知識、提出論文の内容等に関して行います。

### <試験場> 京都府立大学

### ◆合格発表日

#### 博士前期課程

<夏期>

2024年8月16日(金)正午

<冬期>

2025年2月17日(月)正午

#### 博士後期課程

2025年2月20日(木)正午

※合格者には、合格通知書及び入学手続きに関する書類を郵送します。

## 【生命環境科学研究科】

### ◆選考方法等

#### 博士前期課程

- a. 下記表－1 以外の分野では、選考は、志望理由書その他の提出書類および面接・口述試験を総合して行います。

なお、応用生命科学専攻の出題分野「食保健学」および環境科学専攻の出題分野「数物・情報環境学」の志願者は、面接時にTOEIC公式認定書を持参してください。（P. 23 出願手続（2）出願書類の d. 「TOEIC公式認定書」を参照）

- b. 環境科学専攻の出題分野「生活環境科学」では、選考は、志望理由書その他の提出書類、学力試験（筆記試験）及び面接を総合して行います。学力試験（筆記試験）は、専門科目について出題します（表－1 参照）。

環境科学専攻の出題分野「生活環境科学」を受験する場合は、以下に留意してください。

- ・ 志望する専門科目と専門分野（注）を選択してください。同じ出題分野であればいずれの専門科目、専門分野でも第2志望として選択できます。
- ・ 第2志望がある場合は、第1志望・第2志望ともに、志望する教員が所属する専門科目と専門分野の名称および教員名（注）を書いてください。
- ・ 第1志望の教員および第2志望がある場合は、その教員とも事前に面談をしておいてください。

表－1 環境科学専攻の出題分野「生活環境科学」の出題科目

専攻	専門種目	出題分野	出題科目
環 境 科 学	住環境文化学	生 活 環 境 科 学	<p>下記の3専門科目、15の専門科目から3科目を選択すること。ただし、第1志望の専門分野の科目は必ず選択すること。第2志望がある場合はその科目も必ず選択すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住環境文化学：都市計画学、住生活学、環境配慮型生活学、生活文化学、住宅建築史学</li> <li>・ 住環境計画学：建築意匠学、建築計画学、居住福祉計画学、インテリア意匠学、インテリア計画学</li> <li>・ 住環境機構学：建築都市環境学、視環境計画学、木質構造学、ランドスケープ学、住環境防災学</li> </ul> <p>各専門科目の指定参考書及び出題範囲等は、別表3に示すとおりである。</p> <p>問題は、この指定参考書の範囲から日本語で出題される。</p>
	住環境計画学		
	住環境機構学		



### 博士後期課程

選考は、志望理由書その他の提出書類および面接・口述試験を総合して行います。面接・口述試験では、パソコンによるプレゼンテーションを行っていただきます。面接・口述試験の詳細は、願書受付後お知らせします。

他大学大学院からの志願者で、応用生命科学専攻の出題分野「食保健学」を志望する場合は、面接・口述試験時にTOEIC公式認定書を持参してください。(P. 2 3 出願手続き(2) 出願書類 d. 「TOEIC公式認定書」を参照)

博士前期課程・後期課程ともに、応用生命科学専攻の出題分野「生命物質科学」、環境科学専攻の出題分野「森林科学」及び「生活環境科学」の志願者は、事前届書(第3号様式)の「専攻」欄および願書の「志望専門種目」欄に、志望する教員が所属する専門分野(注)を記載してください。

(注) 応用生命科学専攻の生命物質科学、環境科学専攻の森林科学及び生活環境科学の教員名と専門分野は、別表2に示すとおりです。

### ◆面接・口述試験の日時

専攻	課程	科目	期日	時間
応用生命科学	博士前期 博士後期	面接・口述試験	2025年 2月 8日(土)	13時00分～
環境科学	博士前期 (森林科学、 数物・情報環 境学)	面接・口述試験	2025年 2月 8日(土)	13時00分～
	博士前期(生 活環境科学)	専門科目		10時00分 ～12時00分
		面接・口述試験		13時00分～
	博士後期	面接・口述試験		13時00分～

### 〈試験場〉京都市立大学

### ◆合格発表日

博士前期課程・博士後期課程

2025年2月17日(月)正午

※合格者には、合格通知書および入学手続きに関する書類を郵送します。

別表1 専門種目と出題分野

専攻	専門種目	出題分野
応用生命科学	植物育種学	植物生産 テクノサイエンス学
	野菜花卉園芸学	
	果樹園芸学	
	細胞工学	
	農業生態学	
	農業経営学	
	応用昆虫学	
	昆虫情報学	
	土壌学	
	栄養科学	
	食品科学	
	食環境安全性学	
	食事科学	
	健康科学	動物機能科学
	分子栄養学	
	動物機能学	
動物衛生学		

専攻	専門種目	出題分野
応用生命科学	遺伝子工学	植物分子生物学
	植物病理学	
	植物分子生物学	
	植物ゲノム情報学	
	植物成分化学	
	微生物機能化学	生命物質科学
	物質創成化学	
	機能創成化学	
	システム創成化学	

専攻	専門種目	出題分野
環境科学	森林生態学	森林科学
	流域保全学	
	森林資源学	
	住環境文化学	生活環境科学
	住環境計画学	
	住環境機構学	

専攻	専門種目	出題分野
環境科学	環境応用情報学	数物・情報環境学
	環境応用数理学	
	環境計測学	

(注) 京都府立大学と雲南農業大学の学術交流協定に基づいて雲南農業大学から事前申し出のあった生命環境科学研究科への特別推薦入学候補者については、面接・口述試験は課しません。

なお、応用生命科学専攻のうち出題分野「生命物質科学」および環境科学専攻のうち出題分野「生活環境科学」と「数物・情報環境学」は、この特別推薦入学の対象としません。

別表2 応用生命科学専攻 生命物質科学、環境科学専攻 森林科学及び生活環境科学の教員名と専門分野

専攻	出題分野	専門種目	教員名	専門分野	主な研究テーマ		
応用生命科学専攻	生命物質科学	微生物機能化学	辻本 善之	微生物機能化学	自然界からの有用微生物の探索およびその解析と応用、醸造微生物の機能解析		
		物質創成化学	斧田 宏明	無機材料化学	多様な無機化合物の反応を活用した、環境負荷が小さく、生体にやさしい無機材料の作製		
			椿 一典 今吉亜由美	機能分子合成化学	精密有機合成化学を基本に据え、分子認識化学・構造有機化学・分子機能化学へ研究を展開し、高機能性材料や診断試薬、医薬品を創成		
			沼田 宗典	超分子合成化学	機能性分子の合成と分子集積化学を基盤として、新たな高機能物質を創りだし、機能材料・生体適合材料へと応用する研究を展開		
		機能創成化学	安部 聡	生体分子建築化学	タンパク質などの生体分子の集積化反応を利用したバイオ機能材料の設計・構築・機構解明に関する研究		
			高野 和文 田中 俊一	生命構造化学	タンパク質の形作りに着目した生命現象の解明と天然の機能を超越する人工タンパク質の設計と応用		
			佐野 智	高次細胞機能化学	細胞内のタンパク質の生体機能と細胞レベルでの生物応答の制御機構に関する研究		
		システム創成化学	杉本 健士	医薬分子構築化学	生物活性物質・医薬品などの複雑な三次元構造をもつ生体制御分子の精密構築法の開拓と、それに利用可能な効率的有機分子変換反応の開発を展開		
			堀内 宏明	光機能物質化学	光化学・物理化学に基づく、光ガン治療に用いる光感受性薬剤の高機能化・多機能化の研究		
			織田 昌幸	生命物理化学	抗体や酵素などタンパク質の動的構造と機能との相関解明		
			久保 拓也	機能分子解析化学	有機無機複合型の新規材料の合成と固液界面における原子、分子間相互作用に基づく革新的な分離技術に関する基礎研究と医薬品/環境計測への応用		
			リントウル オト 正美	計算化学	量子化学、分子動力学計算を用いた酵素反応機構やタンパク質の機能と構造の関連性の解明		
		環境科学専攻	森林科学	森林生態学	隅田 明洋※	森林生態学	森林の発達・維持のメカニズムに関する生態学的研究
					上田 正文	森林生理生態学	樹木の生態・健康度および水分生理に関する研究
					平山貴美子 佐々木尚子	森林植生学	森林動態、生物間相互作用、人と自然の相互関係史、植生変遷等に関する研究
宮藤 久士 糟谷 信彦	森林資源循環学				森林の物質循環、エネルギー循環、資源の循環的利用に関する研究		
流域保全学	長島 啓子 中田 康隆			森林計画学	森林およびその資源の調査、解析、予測、計画、管理、評価に関する研究		
	美濃羽 靖			流域情報学	流域環境（気象、水、土砂、河川、湖沼など）の調査・実験・解析、流域と社会・経済との相互作用等に関する研究		
	勝山 正則			山地防災学	森林流域における水循環・水質形成機構、気候変動に対する森林流域の長期水応答の変化に関する研究		
	三好 岩生 高濱淳一郎			砂防学	山地流域からの水・土砂流出、土砂災害の発生機構、荒廃山地の緑化・森林保全、地域防災システムに関する研究		
森林資源学	古田 裕三 神代 圭輔			生物材料物性学	木材や竹材等の生物材料とこれら生物材料を用いた木質系材料の組織構造、物性に関する研究		
	辻山 彰一			木質生化学	きのこ及びその酵素に関する応用研究、木質成分利用に関する研究		
	細谷 隆史			生物材料利用化学	木材およびその構成成分の化学分解法とその分子機構に関する研究		

※ 2025年（令和7年）3月退職予定

専攻	出題分野	専門種目	教員名	専門分野	主な研究テーマ
環境科学専攻	生活環境科学	住環境文化学	辻 慎一郎	住居建築史学	住居建築史学に関する研究
			関口 達也	都市計画学	都市計画、都市現象、都市政策に関する研究
			檜谷美恵子*	住生活学	住様式・居住問題・居住政策に関する研究
			山川 肇	環境配慮型生活学	環境配慮型生活の促進・循環型社会の形成に関する研究
			松田 法子	生活文化学	都市・地域・建築に関する生活文化論的・史的・美学的研究
		住環境計画学	河西 立雄*	建築意匠学	建築・都市・インテリアの空間デザインに関する研究
			河合 慎介	建築計画学	使われ方による平面型の評価・医療施設の計画に関する研究
			鈴木 健二	居住福祉計画学	高齢者を中心とした居住施設・福祉施設の計画に関する研究
			奥矢 恵	インテリア意匠学	建築・インテリア空間の意匠に表れる地域性や時間性に関する研究
			森田 一弥	インテリア計画学	空間のデザイン手法に関する研究
		住環境機構学	長野 和雄	建築都市環境学	生気候学・生活環境及び設備計画学・人体熱収支に関する研究
			石川 敦雄	視環境計画学	建築・都市の視環境及び環境心理学に関する研究
			田淵 敦士	木質構造学	伝統木造建築の耐震性能評価や保存技術に関する研究
			荒木 裕子	住環境防災学	住環境防災学に関する研究
			福井 亘	ランドスケープ学	ランドスケープ及び景観生態に関する研究

※ 2025年（令和7年）3月退職予定

### 別表3 環境科学専攻 生活環境科学出題分野の専門科目の指定参考書及び出題範囲

#### 【住環境文化学】

- ・都市計画学（『都市計画 第4版』、川上光彦、第10章・第12章を除く、森北出版、2021）
- ・住生活学（『21世紀のハウジング<居住政策>の構図』、住田昌二、ドメス出版、2007）
- ・環境配慮型生活学（『3R・低炭素社会検定公式テキスト[第3版]』、3R・低炭素社会検定実行委員会編、ミネルヴァ書房、2020）
- ・生活文化学（『日本都市史・建築史事典』、都市史学会編、P.4～7、42～45、94～97、104～129、184～188、194～211、272～285、294～303、326～327、丸善出版、2018）
- ・住居建築史学（『カラー版 建築と都市の歴史』、光井渉・太記祐一編著、I日本建築史、井上書院、2013、および『日本建築史図集 新訂第三版』、日本建築学会編、図版ページ、彰国社、2011）

#### 【住環境計画学】

- ・建築意匠学（『近代建築史』、石田潤一郎・中川理編、昭和堂、1998）
- ・建築計画学（『設計力を育てる建築計画100選』、今井正次他、第2章から第3章、共立出版、2015）
- ・居住福祉計画学（『住むための建築計画』、佐々木誠他、第3章から第8章、彰国社、2013）
- ・インテリア意匠学（『日本の建築意匠』、平尾和洋・青柳憲昌・山本直彦編著、第4章を除く、学芸出版社、2016）
- ・インテリア計画学（『テキスト建築意匠』、平尾和洋・末包伸吾編著、学芸出版社、2006）

#### 【住環境機構学】

- ・建築都市環境学（『図説 建築環境』、松原斎樹・長野和雄編著、学芸出版社、2017、および『図説 建築設備』、村川三郎監修／芳村恵司・宇野朋子編著、学芸出版社、2016）
- ・視環境計画学（『図説 建築環境』、松原斎樹・長野和雄編著、第3章、学芸出版社、2017、および『生活の色彩学』、橋本令子・石原久代編著、第2章から第7章、朝倉書店、2019）
- ・木質構造学（『新・建築材料I<第2版>[構造材料編]』、田上享二他、第2章、数理工学社、2021、および『建築構造力学講義（改訂版）』、藤谷義信他、第1章から第4章、培風館、2005）
- ・ランドスケープ学（『造園の手引き』、京都府造園協同組合、誠文堂新光社、2016）
- ・住環境防災学（『改訂版 都市防災学：地震対策の理論と実践』、梶秀樹・塚越功編著、学芸出版社、2012）

（注）頁及び章等の記載のないものについては、全章が範囲となります。

## 【食の文化学位プログラム】

選考は、提出書類、学力試験(筆記試験)及び口述試験を総合して行います。

### ◆学力検査の日時等

#### 博士前期課程

月日	専攻	科目	時間
2025年2月 8日(土)	—	小論文	10時00分～11時30分
		口述試験	13時00分～

※ 試験当日は、指示された時間の30分前までに試験場に集合してください。

#### 博士後期課程

月日	専攻	科目	時間
2025年2月12日(水)	—	口述試験	13時00分～

※ 試験当日は、指示された時間の30分前までに試験場に集合してください。

<試験場> 京都府立大学

### ◆合格発表日

#### 博士前期課程

2025年2月17日(月)正午

#### 博士後期課程

2025年2月20日(木)正午

※合格者には、合格通知書及び入学手続きに関する書類を郵送します。

## 出願必要書類一覧(文学研究科・公共政策学研究科・生命環境科学研究科)

\* 各研究科専攻により、出願種類が異なるので、よく確認して、出願してください。

必要書類	注意事項	文学研究科						公共政策学研究科				生命環境科学研究科				
		国文学中国文学専攻		英語英米文学専攻		史学専攻		公共政策学専攻		福祉社会学専攻		応用生命科学専攻		環境科学専攻		
		博士前期	博士後期	博士前期	博士後期	博士前期	博士後期	博士前期	博士後期	博士前期	博士後期	博士前期	博士後期	博士前期	博士後期	
入学願書	生年月日欄は西暦表記で記入してください。 写真2枚を貼付してください。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
入学審査料	30,000円 本学所定の「入学審査料振込依頼書」により、銀行または信用金庫等の金融機関から振り込んでください。[ゆうちょ銀行(郵便局)からの振込不可](A票への金融機関押印により入金を確認します。) 金融機関から振り込めない場合は、ゆうちょ銀行(郵便局)の普通為替証書を同封してください。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
卒業(見込)証明書及び成績証明書	出身大学のもの * 写し不可	○	—	○	—	○	—	○	—	○	—	○	—	○	—	
修了(見込)証明書及び成績証明書	出身大学院のもの * 写し不可	—	○	—	○	—	○	—	○	—	○	—	○	—	○	
自国の政府、大使館又は領事館が発行した身分証明書又は推薦書	* 写し不可。左記のものが提出できない場合は、パスポート原本を持参してください。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
論文	文学研究科の志願者 * 博士前期課程英語英米文学専攻の夏期実施の場合には不要 公共政策学研究科の志願者 ※博士前期課程の公共政策学専攻及び福祉社会学専攻(夏期実施)については、学力試験の「総合(小論文)」を受験することにより、論文等の提出に代えることができます。	○ 日本語の論文	○ 日本語の論文	○ 英語の論文 (夏期実施分は不要)	○ 英語の論文	○ 日本語、英語又は中国語の論文2部	○ 日本語、英語又は中国語の論文2部	○ 日本語の論文2部 ※ 学力試験受験により省略可	○ 日本語の論文4部	○ 日本語の論文2部 ※ 夏期は学力試験受験により省略可	○ 日本語の論文4部	—	—	—	—	
研究計画書	文学研究科英語英米文学専攻博士前期課程の志願者 文学研究科博士後期課程の志願者 公共政策学研究科の志願者 生命環境科学研究科博士後期課程の志願者	—	○ 4,000字程度	○ 2,000字程度 (冬期実施分は不要)	○ 4,000字程度	—	○ 4,000字程度	○ 本学所定の用紙に記入	○ 本学所定の用紙に記入	○ 本学所定の用紙に記入	○ 本学所定の用紙に記入	—	○ A4用紙で3,000字程度	—	○ A4用紙で3,000字程度	
研究内容の概要	生命環境科学研究科博士後期課程の志願者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○ A4用紙で3,000字程度	—	○ A4用紙で3,000字程度	
志望理由書	生命環境科学研究科博士前期課程の志願者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○ A4用紙で1,200字程度	—	○ A4用紙で1,200字程度	—
TOEICの公式認定書(写し不可)	生命環境科学研究科応用生命科学専攻「食保健学(博士前期課程・博士後期課程)」の志願者 生命環境科学研究科環境科学専攻「数物・情報環境学(博士前期課程)」の志願者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○ (面接時)	○ (面接時)	○ (面接時)	—
大学院入学試験関係返信用封筒	郵便番号・住所・氏名明記、切手434円分貼付※ * 本学指定のものを使用すること。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
連絡用宛名シール	郵便番号・住所・氏名明記 * 本学指定のものを使用すること。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※ 定形郵便物(25gまで)料金に簡易書留料金を加えた料金。料金が改定された場合は、改定後の料金で準備してください。





## 出願必要書類一覧(食の文化学位プログラム)

必要書類	注意事項	博士前期	博士後期
入学願書	生年月日欄は西暦表記で記入してください。 写真2枚を貼付してください	○	○
入学考査料	30,000円 本学所定の「入学考査料振込依頼書」により、銀行または信用金庫等の金融機関から振り込んでください。[ゆうちょ銀行(郵便局)からの振込不可](A票への金融機関 押印により入金を確認します。) 金融機関から振り込めない場合は、ゆうちょ銀行(郵便局)の普通為替証書を同封してください。	○	○
卒業(見込)証明書及び成績証明書	出身大学のもの * 写し不可	○	-
修了(見込)証明書及び成績証明書	出身大学院のもの * 写し不可	-	○
自国の政府、大使館は領事館が発行した身分証明書又は推薦書	* 写し不可。左記のものが提出できない場合は、パスポート原本を持参してください。	○	○
志望理由書		○ 日本語または英語 A4 用紙使用 日本語で記載する場合は 4,000 字程度 英語で記載する場合は 2,200 ワード以内	-
研究計画書		-	○ 日本語または英語 A4 用紙使用 日本語で記載する場合は 6,000 字程度 英語で記載する場合は、3,300 ワード以内
論文	修士論文等(日本語または英語に限る)	-	○ 3部
大学院入学試験関係返信用封筒	郵便番号・住所・氏名明記、切手434円分貼付※ * 本学指定のものを使用すること。	○	○
連絡用宛名シール	郵便番号・住所・氏名明記 * 本学指定のものを使用すること。	○	○

※ 定形郵便物(25g まで)料金を簡易書留料金を加えた料金。料金が改定された場合は、改定後の料金で準備してください。

## 京都府立大学学生部

〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5

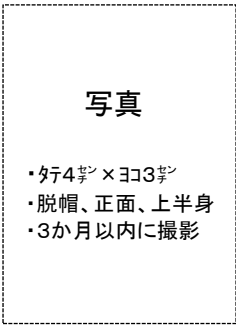
電話(075)703-5144(直通)



# 履 歴 書

京都府立大学

フリガナ					
氏名 (自筆すること)					
パスポートに記載の氏名					
生年月日	年	月	日( 歳)	( 男 ・ 女 )	
国籍					
現住所	〒				
電話番号			E-mail		
学歴			学校名(国名)	正規の 修学年	入学及び卒業年月
	初等教育 (小学校)		( )		入学 年 月 卒業 年 月
	中等教育 (中学及び 高校)	中学	( )		入学 年 月 卒業 年 月
		高校	( )		入学 年 月 卒業 年 月
	高等教育 (大学、大学院等)		( )		入学 年 月 卒業 年 月
			( )		入学 年 月 卒業 年 月
			( )		入学 年 月 卒業 年 月
職歴	勤務先(所属機関名、会社名)			自 年 月 至 年 月	
	勤務先(所属機関名、会社名)			自 年 月 至 年 月	
特記事項 (免許・資格 等)					



※学歴、職歴など上欄に書ききれない場合は、適宜、別紙に記入し添付してください。

第3号様式（出願事前審査） 事 前 届 書

フリガナ 氏 名		男 女	年齢 ( )	国籍 ( )
志望の研究科または学位プログラム  博士前期 ・ 博士後期	専攻  [ * <sup>2</sup> 専門種目 (専門分野) ]	本学の推薦教員、担当教員がある場合は記入してください。 教員名 ( )		
試験の種別	日本留学試験		英語圏留学用試験	
受験年月	年 月	年 月	年 月	年 月
試験結果	(文系) 日本語 総合科目 数 学 合 計	(理系) 日本語 理 科 数 学 合 計	(TOEFL) i B T	(TOEIC)
在留資格		入国 年 月	期限	年 月まで
査証（ビザ）の写し又は在留カードの表面及び裏面の写し貼付欄				

※1 語学試験（日本留学試験、TOEFL試験、TOEIC試験）を受験している場合は、試験結果の成績通知書の写しを添付してください。

※2 専攻欄の「専門種目」は、生命環境科学研究科を志望する者のみ記載してください。  
なお、応用生命科学専攻の出題分野「生命物質科学」、環境科学専攻の出題分野「森林科学」及び「生活環境科学」の志望者は（専門分野）を記載してください。

第4号様式（出願事前審査）

在留資格に関する誓約書

京都府立大学長 様

年 月 日

氏名 (signature)

---

私は、京都府立大学外国人留学生入学案内（大学院）に記載の内容を理解し、大学院への入学が決定した場合は、在留資格に関し、下記事項について誓約します。

記

- 「留学」の在留資格を有している場合  
必要に応じて「在留期間更新許可申請」を行います。
- 「留学」以外の在留資格を有している場合  
「在留資格変更許可申請」を行い、「留学」の在留資格に変更します。
- 在留資格を有していない場合
  - 日本国の法律に従って、「留学」の在留資格を取得するための必要な手続きを行います。
  - 「留学」査証（ビザ）が交付され、日本に入国した時は、入国後速やかに在留カードの写しを提出します。
  - 「留学」査証（ビザ）が交付されなかった場合は、速やかに連絡します。

【記入上の注意】

該当する1～3の番号に○印を付けてください。